

「第二期福井市子ども・子育て支援事業計画」の概要

本市では、2015(平成27)年4月からの「子ども・子育て支援制度」のスタートにあわせ、「福井市子ども・子育て支援事業計画」(計画期間:平成27年度～令和元年度)を策定し、地域や社会が子育て家庭に寄り添い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んできました。

第二期計画では、「子どもの貧困対策の推進」や「外国につながる子ども等への支援」を新たに施策として追加し、「母子の健康の確保と増進」「要保護児童への支援」「ひとり親家庭への支援」を新たに重点施策に加えました。

1 基本理念

「子どもすくすく おとないきいき みんなで育ちあうまちへ」

子どもは社会の希望であり未来を創る存在です。まずは保護者が子育てについての責任を担うべきであることを前提としつつ、すべての子どもの健やかな育ちを保障することは社会全体の責任です。

安心して子どもを産み育てられる環境を整え、保護者の親としての成長に寄り添うことで、保護者が出産や子どもの成長に喜びを感じることができるよう支援し、今後も多くの子どもたちの笑顔があふれる活気あるまちを目指します。

2 計画期間

令和2年度～令和6年度(5年間)

3 施策の方向

結婚・妊娠から子育てのライフステージに沿って、「結婚・妊娠・出産」、「子どもの育ち」、「保護者の支援」、「職場・地域の役割」の視点から次の4つの方向を定めます。

- 施策の方向1

結婚や子育てに夢を持てる環境を整えます

結婚や子育てに関する負担や不安を払拭し、子どもを産み育てることに夢と希望を持てる施策を展開します。
- 施策の方向2

子どもの健やかな育ちを守ります

すべての子ども一人一人がかけがえのない個性ある存在として認められ、健やかな育ちが等しく保障されるための仕組みや環境を整備します。
- 施策の方向3

保護者への子育て支援を充実します

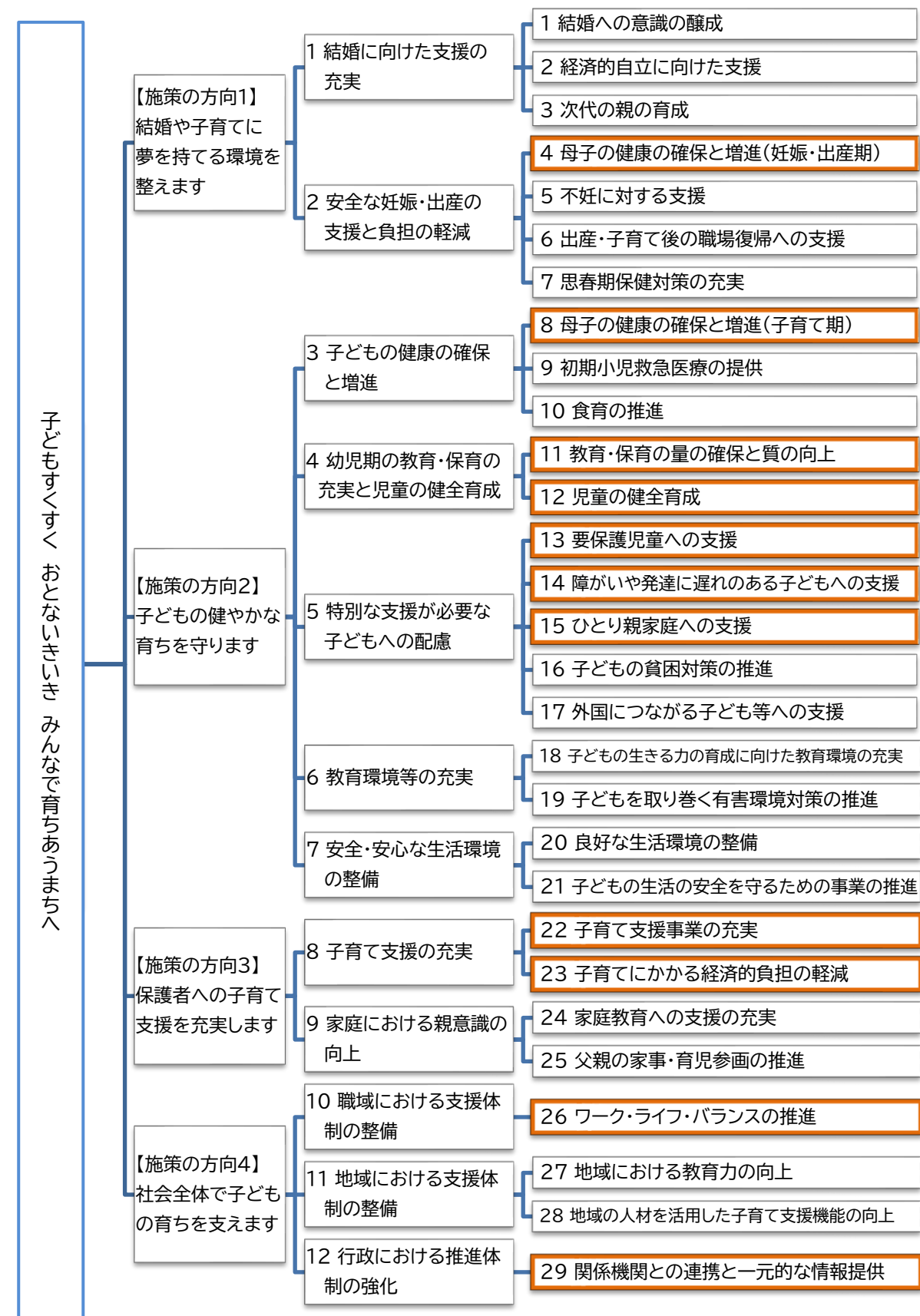
子育てに対する負担の軽減や不安の解消を図るとともに、親としての成長を促すことで、保護者が子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じられる社会を実現します。
- 施策の方向4

社会全体で子どもの育ちを支えます

家庭、職域、地域におけるすべての市民と行政が子ども・子育て支援の重要性を認識し、各々が協働し、それぞれの役割を果たすための取組を展開します

4 施策の体系

- ・進捗管理を明瞭化するため、基本施策ごとに成果指標を設けて点検・評価を行います。
- ・本市の子どもや子育て家庭を取り巻く状況と課題をふまえ、11の施策(太枠の施策)重点施策とし、事業を推進します。



第二期 福井市子ども・子育て支援事業計画

福井市ひとり親家庭自立促進計画

新・福井市放課後子ども総合プラン事業計画

主な取組成果



令和
2～6
年度

■各計画の概要

	第二期子ども・子育て 支援事業計画	福井市ひとり親家庭 自立促進計画	新・福井市放課後子ども 総合プラン事業計画
策定趣旨	安心してこどもを産み育てられる環境を整え、多くのこどもたちの笑顔があふれる活気あるまちを目指すため、 子育て支援等に関する施策を総合的に推進	ひとり親家庭 を取り巻く環境やニーズに配慮しながら 自立を促進する施策を総合的に推進	全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、 放課後児童対策の施策を総合的に推進
計画理念	子どもすくすく おとないきいき みんなで育ちあうまちへ	ひとり親家庭等の生活の安定と向上、またその子どもたちが健やかに成長することができる環境づくりを進めます	—
計画期間	令和2～6年度 (5年間)	令和2～6年度 (5年間)	令和2～6年度 (5年間)
指標の数	20指標 指標	5指標 指標	2指標 指標

※各計画において、指標と関連する事業には

指標

 (計画ごとに上記の色)を付けています。なお、指標の内容等は資料2を参考。

■各計画の関連性

第二期子ども・子育て支援事業計画

施策の方向 **1**
結婚や子育てに夢を持てる
環境を整えます

施策の方向 **2**
子どもの健やかな育ちを
守ります

重点施策 ひとり親家庭への支援

重点施策 児童の健全育成

施策の方向 **3**
保護者への子育て支援を
充実します

施策の方向 **4**
社会全体で子どもの育ちを
支えます



連携

福井市
ひとり親家庭
自立促進計画

目標整備量等を設定

新・福井市
放課後子ども
総合プラン
事業計画

指標①

■結婚意識や婚活スキルを高める講座や婚活イベントの開催



写真はイメージ

婚活イベントや縁活お助け人（仲介ボランティア）によるイベント後の交際サポート等を行い、**5年間で男女28人が成婚**に至ったとともに、結婚に前向きになる意識の醸成を図ることができました。

■新生活のスタートアップに要する費用の支援



写真はイメージ

若者の結婚を後押しするため、**一定の要件を満たした新婚世帯に対して、新生活のスタートアップに係る費用を最大100万円補助**し、9割以上の方から満足いただきました。

■こども家庭センターにおける相談支援

指標②



「ふくっこ」開設セレモニーの様子

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、こども・子育てに関する**様々な相談に応じ、情報提供や助言**を行いました。保健・福祉・医療等の**関係機関が連携**し、妊娠期から子育て期にわたる、**切れ目のない支援を実施**しました。

■妊産婦健診の費用助成や受診勧奨



写真はイメージ

妊婦健康診査受診の重要性について情報提供し、**適切な回数**の受診を促すことで、安心・安全な妊娠・出産につながるよう支援しました。

また、**健診費用を助成**し、経済的負担を軽減しました。

■乳幼児健診の実施や受診勧奨

指標③④

乳幼児の疾病や異常の早期発見および成長発達の確認や、育児不安の軽減を図るため**健康診査を実施**しました。

それぞれの発育状況や特性において考えられる様々な課題に対し、専門医療機関への紹介や、助産師や保健師などの専門職による教室・相談会、訪問など**早期に対応**することで、より健やかな成長・発達につなげました。

■発達障がい児者支援の人材育成

指標⑨

障がい福祉サービス事業所など関係機関の職員を対象に、人材育成研修を実施し、場面に応じた事例検討や相談・助言を行いました。

また、**令和6年度から関係機関の対象に放課後デイサービスを追加し、研修方法を対象施設に訪問するかたち（巡回型）で実施**したことで、**人材育成数の大幅な増加**につながりました。

■保育の受入体制の強化

指標⑤



新設した私立こども園の様子

低年齢児の定員に不足が見込まれた**九頭竜区域に私立のこども園3園を新設**しました（令和4年4月開園）。
また、定員拡充のための施設整備に対し支援することで、**低年齢児の受入体制の強化**を図りました。

■キャリア教育の推進

指標⑪



キャリア教育の様子

地域や産業界のもつ教育資源を有効に活用したキャリア教育を行いました。計画的かつ効果的にプログラムを活用する学校が増え、**令和6年度の実施学級数は5年前の255学級から404学級と大幅に増やすことが**できました。

■親子の遊び場の提供や育児相談支援 指標⑬



写真はイメージ

地域子育て支援センターを市内11か所で開設し、遊び場の提供のほか、育児相談等を実施し、子育て中の親の孤独感や不安感の緩和につなげました(延べ利用者数100,758人、講習会等実施回数1,739回(R6))。

■多子世帯への経済的支援

指標⑭



写真はイメージ

令和6年9月から第2子等の保育料を完全無償化としました。

一時預かりや病児保育にかかる利用料金についても無償とし、子育て世帯の経済的負担を軽減することができました。

■子ども医療費の無償化



写真はイメージ

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、保険診療分の医療費に対する助成を、中学3年生までから高校3年生相当までに拡充しました。

令和7年1月からは、自己負担金の完全無償化を実施しました。

■生後4か月までの乳児のいる全家庭を訪問



写真はイメージ

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を助産師等が訪問し、子育て支援に関する情報提供や育児相談等を実施するとともに、養育環境等の把握を行い、適切な支援につなげました。

指標⑬

■市内企業の事業主等を対象としたセミナーの開催



セミナーの様子

働きやすい就労環境づくりのため、**市内企業の事業主を対象としたセミナーを開催**しました(参加企業数27社(R6))。

■中小企業雇用促進相談員による企業訪問や情報提供



写真はイメージ

中小企業雇用促進相談員が企業を訪問し、企業の課題等を聴いたうえで、子育てがしやすい、働きやすい職場環境づくりのための制度に関する情報提供を行いました(企業訪問数245社(R6))。

■地域での子育てや孫育ての支援

指標⑭



ぱんだルームでの講座の様子

公民館や図書館、子育て支援センター等で地域の実情やニーズに応じた子育て・孫育て出前講座を開催し(開催数 15回(R6))、地域でこどもの成長を見守る体制づくりの一助とすることができました。

■冊子、SNS、アプリ等での情報発信

指標⑮⑯

福井市結婚・子育てガイド
はぐくむbook

「はぐくむbook」(情報冊子)のほか、**母子健康手帳・子育て支援アプリを新たに導入**して、子育て等に関する情報を提供しました(はぐくむ.net閲覧数18,129件、ふくいくネ登録者数 2,507名(R6))。

総 括

● 第二期子ども・子育て支援事業計画

- ・「こども未来部」の新設、「こども家庭センター」の開設等の**切れ目ない支援体制の整備、保育の受入体制の強化、子育て世帯の経済的負担の軽減**などを重点的に取り組み、安心してこどもを産み育てられる環境を整えました。
- ・**指標**においては、20指標のうち15指標について目標を達成するなど、幅広い分野で取組を進めることができました。達成できなかった指標においても、目標数値の達成には至りませんでしたでしたが、取組としては着実に進めることができました。



指標②

指標⑤

■母子・父子自立支援員による相談事業の実施



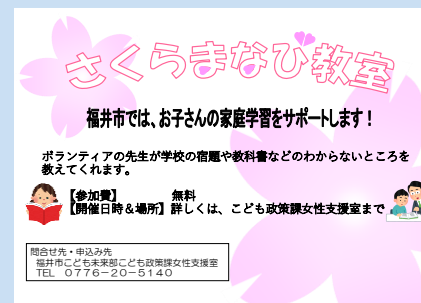
母子・父子自立支援員が、ひとり親家庭に対する総合的な窓口として、生活全般から就労相談、養育費相談、各種制度の案内などニーズに応じた支援を行いました。



令和6年度に女性支援室を設置し、母子・父子自立支援員を2名に増員したことで、平日は全日対応できるよう相談体制を強化しました。

■学習支援の充実

指標①



生徒募集のチラシ

ひとり親家庭や生活困窮世帯等のこどもを対象に、学習支援教室を開催しました。

令和6年度から、人口増によりニーズが高いことが予想される森田地区に1か所増やし、全6か所とするなど、事業の拡充を図りました。

指標③

■養育費および親子交流(面会交流)の弁護士相談の支援



法テラスリーフレット



市補助金案内チラシ

母子・父子自立支援員が、養育費取得や親子交流に関する相談に対応しました。法的措置を要する事例については、弁護士による無料相談を行う法テラスや福井弁護士会と連携し支援を行いました。

令和3年度から、養育費に関する公正証書等作成促進補助金を新設し、継続した養育費の支払いの確保を図りました。

■母子父子寡婦福祉資金貸付の実施

指標④



ひとり親家庭等に対し、修学資金や生活資金など貸付制度の周知を行い、利用の促進を図りました。

相談時には、本貸付制度だけでなく、返済不要の給付金や給付型奨学金などを案内し、利用者の立場に立った適切な支援に努めました。

● 福井市ひとり親家庭自立促進計画

- ・ 母子・父子自立支援員の増員による相談対応日数の拡充や各種支援の充実により、**相談支援体制を強化**することができました。
- ・ 指標については、ひとり親支援施策の対象となる児童扶養手当受給者数の減少や、関係する他の窓口や制度の充実により、5指標のうち2つの達成となりました。
- ・ 今後も、ひとり親家庭が抱える様々な問題や個別ニーズに応じた きめ細かな相談支援が必要です。

福井市ひとり親家庭自立促進計画 指標一覧

基本方針	No.	指標	目標値 ※	方向性	策定時 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	単位	達成 状況
①子育てや生活支援の推進	①	学習支援教室参加登録者数	100人	↗	50	55	70	80	83	98	人	
②就業支援の推進	②	ひとり親家庭の就業相談者数	100人	↗	80	82	58	58	31	38	人	
③養育費の確保及び面会交流(親子交流)に関する取り決めの推進	③	養育費相談から弁護士相談につなげた件数	10件	↗	1	4	5	19	23	35	件	
④経済的支援の実施	④	母子父子寡婦福祉資金貸付事業の認知度	60%以上	↗	25.2	27.2	30.8	40.3	42.2	49.1	%	
⑤情報提供・相談体制の充実	⑤	ひとり親家庭就業・自立支援センターの相談業務の認知度	60%以上	↗	23.6	43.0	49.3	56.0	67.9	74.3	%	

■放課後児童クラブの整備と開所時間延長 指標①



児童クラブの様子

放課後児童クラブの新設や定員の
見直しなど、地域の実情に応じた環
境整備に取り組み、「待機児童ゼ
ロ」を継続しました。

また、保護者の就労状況や児童の
生活環境に配慮しながら、児童クラ
ブの開所時間の延長を図りました。

■放課後こども教室の実施 指標②



旭っ子自主活動の様子

すべての児童が放課後を安全・
安心に過ごし、多様な体験や交流
活動に取り組めるよう、地域住民
等の参画を得て「放課後こども教
室」を実施しました。

令和6年度は15か所で実施しま
した。

■放課後児童クラブ・放課後子ども教室の一体型取組の実施



順化放課後子ども教室の様子

順化地区をモデルケースとして一
体型取組を実施しました。

地域団体と連携したスポーツ、文
化・芸術活動など多様な活動にこど
もたちが参加できる環境の整備を図
りました。

■特別な配慮を必要とする児童への対応



研修の様子

放課後児童支援員を対象に専門
家による研修を実施し、気がかり
な児童との関わり方について理解
を深めることができました。

学童保育巡回アドバイザーを放
課後児童クラブに派遣し、支援員
への助言や現場での対応を通じて
課題解決の支援を行いました。

総 括

● 新・福井市放課後子ども総合プラン事業計画

- ・学童保育（児童クラブ）において、「待機児童ゼロ」を維持しました。今後も、一部の地域で利用希望者の増加に伴い、受入が困難となることも予想されるため、引き続き、学校の余裕教室等を利用した児童クラブの整備や既存施設の改修等を進めていく必要があります。
- ・指標については、2指標のうち1つを達成することができました。

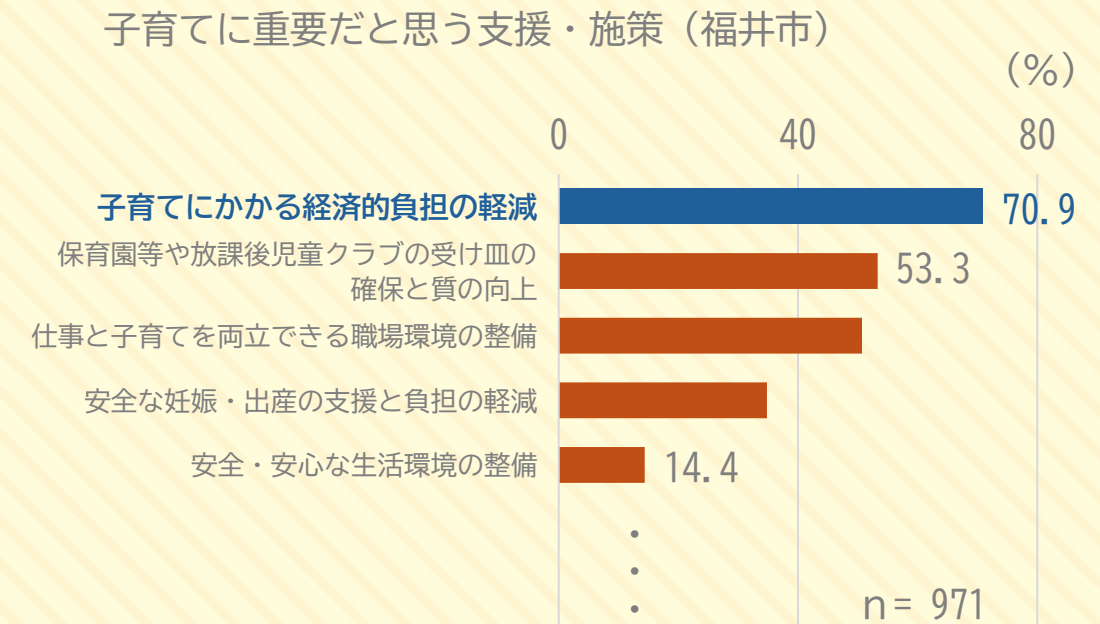
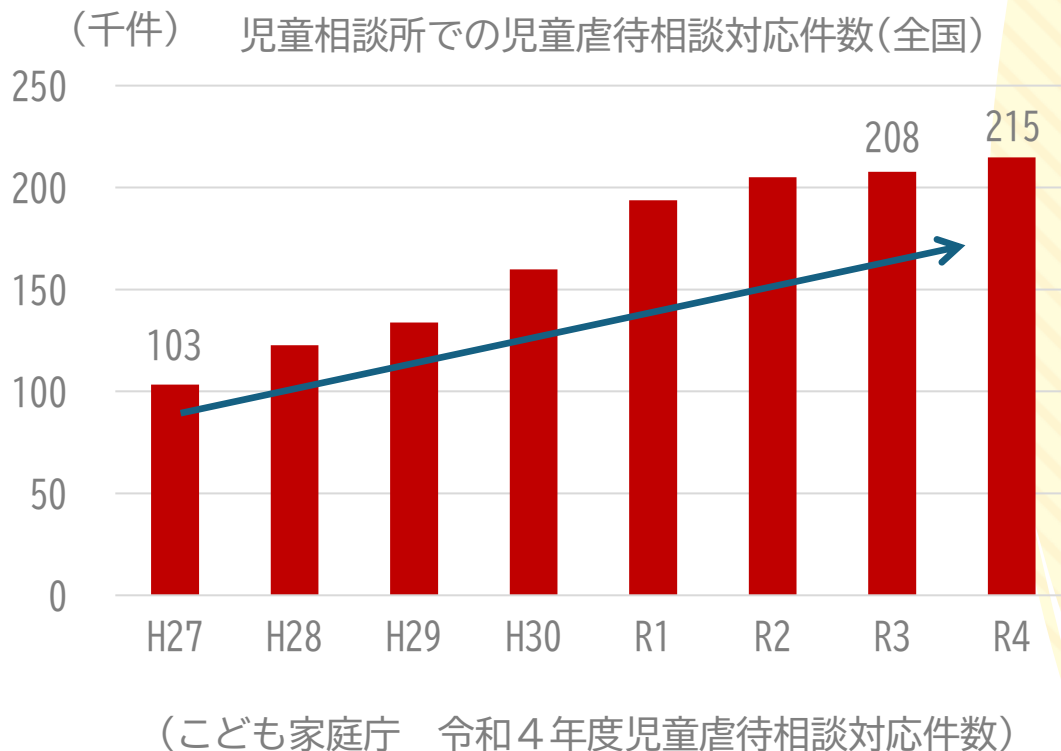
新・福井市放課後子ども総合プラン事業計画 指標一覧

施策	No.	指標	前計画の実績		目標値 ※	方向性	策定時 (元年度末)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	単位	達成状況
			年度	実績										
放課後児童クラブの整備	①	待機児童(学童保育)※	R1	ゼロ	ゼロ	→	0	0	0	0	0	0	人	
放課後子ども教室の整備	②	放課後子ども教室の実施数	R1	21	25	↗	21	19	16	16	15	15	か所	

※第二期子ども・子育て支援事業計画 指標⑥と同じ

課題

- **国全体**では、「少子化・人口減少」に加えて、近年は「こどもの貧困」や「児童虐待」、「ヤングケアラーの顕在化」といった、**こどもを取り巻く状況が深刻化・複雑化**しています。
- **本市**においても、こどもの居場所づくり、子育てにかかる経済的支援など、**引き続き対応していくべき課題も多くみられます。**



(福井市 令和5年度ニーズ調査)

今後の取組

- これらの課題にしっかりと対応していくため、「福井市こども未来条例」を制定するとともに、その理念に基づき施策を展開する「福井市こども未来計画」を令和7年4月からスタートしました。
 - これまでの保護者支援を中心とした計画から、
今後は施策全般をこども目線で捉えなおし、「こどもの成長を社会全体で応援し、こどもの未来が輝くまち」を目指す施策を展開していきます。
- ✓ 社会全体でこども・子育てに関わり支えていく環境づくりや機運醸成
 - ✓ 切れ目ない包括的支援
 - ✓ 子育てにかかる経済的支援 等



今後の取組



子ども・子育て支援事業計画 (第二期)

R 2～6

子育て支援＝保護者支援が主体

子ども・若者等の
意見聴取

こども未来計画 (第一期)

R 7～11

こどもが主体
こどもの最善の利益が第一



成育医療等の提供に関する施策の組み込み

貧困対策の組み込み

子ども・若者支援策の組み込み

放課後子ども総合プラン事業計画の組み込み

ひとり親家庭自立促進計画の組み込み

第二期 子ども・子育て支援事業計画 指標一覧

資料3

政策	施策	No.	指標	前計画の実績		目標値※	方向性	策定時 (元年度末)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	単位	達成状況
				年度	実績										
施策1 結婚や子育てに夢を持てる環境を整える	基本施策1 結婚に向けた支援の充実	①	結婚意識が明確になり、さらに結婚への意欲が高まった割合	H30	90%以上	90%以上	→	96.2	92.3	92.0	96.0	92.4	93.6	%	
	基本施策2 安全な妊娠・出産の支援と負担の軽減	②	妊娠・子育てサポートセンターふくっこ相談件数	R1	〈開設〉	3,150件	↗	3,118	2,673	2,529	2,690	2,625	2,410	件	
施策2 子どもの健やかな育ちを守る	基本施策3 子どもの健康の確保と推進	③	乳幼児健診受診率(4か月児健康診査)	H30	98.8%	97.6%	↗	98.8	98.9	98.7	98.8	99.6	99.2	%	
		④	乳幼児健診受診率(3歳児健康診査)	H30	96.9%	97.4%	↗	96.7	97.2	96.2	95.9	96.5	95.6	%	
	基本施策4 幼児期の教育・保育の充実と児童の健全育成	⑤	待機児童(保育)	R1	ゼロ	ゼロ	→	0	0	0	0	0	0	人	
		⑥	待機児童(学童保育)	R1	ゼロ	ゼロ	→	0	0	0	0	0	0	人	
		⑦	公開保育の実施	H30	7か所	30か所	↗	12	10	15	22	26	30	か所	
	基本施策5 特別な支援が必要な子どもへの配慮	⑧	要保護児童対策地域協議会実務者運営会議の開催回数	R1	12回	12回	→	12	11	12	12	12	12	回	
		⑨	支援の向上を目的とした発達障がい児者支援の人材育成数	R1	延べ12人	累計 延べ72人 (延べ130人)	↗	延べ12	延べ28	延べ50	延べ79	延べ109	延べ237	人	
		⑩	ひとり親家庭就業・自立支援センターにおける自立相談件数の認知度	R1	23.60%	60%以上 (68%以上)	↗	23.6	43.0	49.3	56.0	67.9	74.3	%	
	基本施策6 教育環境等の充実	⑪	「将来の夢やめざす目標をもっている」と回答した児童生徒の割合	H30	80%	80%以上	↗	81.1	79.5	80.9	78.9	79.7	81.4	%	
	基本施策7 安全・安心な生活環境の整備	⑫	保育園・幼稚園・認定こども園における安全意識の向上に向けた「お散歩安全マップ」の作成・見直し	R2	〈開始〉	全園	↗	—	86.7	93.8	95.9	96.9	97.9	%	
施策3 保護者への子育て支援を充実する	基本施策8 子育て支援の充実	⑬	地域子育て支援センターでの相談会等の年間開催数	H30	1,138回	1,200回 (1,600回)	↗	1,291	1,256	1,566	1,726	1,551	1,739	回	
		⑭	保育施設の利用料に対する満足度	H30	59.2%	65.0%	↗	59.2	—	—	—	74.9	—	%	
	基本施策9 家庭における親意識の向上	⑮	保育園・認定こども園における親意識向上のための取組	R2	〈調査開始〉	全園	↗	—	60.4	65.6	94.0	99.0	100	%	
施策4 社会全体で子どもの育ちを支える	基本施策10 職域における支援体制の整備	⑯	職場環境改善に関するセミナー参加企業数	R1	40社	累計 延べ200社	↗	延べ37	延べ46	延べ77	延べ104	延べ135	延べ162	社	
		⑰	女性が働きやすい職場環境整備に新たに取り組む事業所数	H30	10社	累計 延べ50社 (延べ65社)	↗	延べ19	延べ34	延べ44	延べ60	延べ63	延べ73	社	
	基本施策11 地域における支援体制の整備	⑱	子育て・孫育て出前講座の参加者満足度	R2	〈調査開始〉	80% (90%以上)	↗	—	83.4	94.9	95.1	94.1	93.2	%	
	基本施策12 行政における推進体制の強化	⑲	子育てについての相談先が無い人の割合	H30	2.5%	1.0%	↘	2.5	—	—	—	4.9	—	%	
		⑳	妊娠や出産時における情報冊子配布率	H30	100%	100%	→	100	100	100	100	100	100	%	

※下段の()は計画目標値を達成したため、新たな目標値を定めたもの

福井市ひとり親家庭自立促進計画 指標一覧

基本方針	No.	指標	目標値※	方向性	策定時 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	単位	達成状況
①子育てや生活支援の推進	①	学習支援教室参加登録者数	100人	↗	50	55	70	80	83	98	人	
②就業支援の推進	②	ひとり親家庭の就業相談者数	100人	↗	80	82	58	58	31	38	人	
③養育費の確保及び面会交流(親子交流)に関する取り決めの推進	③	養育費相談から弁護士相談につなげた件数	10件	↗	1	4	5	19	23	35	件	
④経済的支援の実施	④	母子父子寡婦福祉資金貸付事業の認知度	60%以上	↗	25.2	27.2	30.8	40.3	42.2	49.1	%	
⑤情報提供・相談体制の充実	⑤	ひとり親家庭就業・自立支援センターの相談業務の認知度	60%以上	↗	23.6	43.0	49.3	56.0	67.9	74.3	%	

新・福井市放課後子ども総合プラン事業計画 指標一覧

施策	No.	指標	前計画の実績		目標値※	方向性	策定時 (元年度末)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	単位	達成状況
			年度	実績										
放課後児童クラブの整備	①	待機児童(学童保育)※再掲	R1	ゼロ	ゼロ	→	0	0	0	0	0	0	人	
放課後子ども教室の整備	②	放課後子ども教室の実施数	R1	21	25	↗	21	19	16	16	15	15	か所	